



夢チャレンジ

校訓

かしこく たくましく うつくしく

令和2年11月 5日 第9号 文責 梶原 圭一



豊かな心の育成を目指して

本校の学校教育目標は、『さらに一歩前へチャレンジ!「自ら学ぶ」坂っ子の育成』です。その学校教育目標を実現するために、学校経営の基本方針を次のように設定し、知・徳・体の調和のとれた児童の育成を目指し、職員全員が一丸となって様々な教育活動を計画し、進めているところです。

人権尊重の精神を基盤として、自他を大切に、豊かな心と確かな学力、健全な心身を育成するとともに、ふるさとのよさを学ぶ児童を育成する。

子供たちは、学校生活や教科の授業を通じて、自他を大切にしながら社会生活を送る上で大切にしたい心の在り方について考える場面がたくさんあります。中でも道徳科は、よりよく生きるための基盤となる道徳性を養う重要な時間と捉え、週に1回の授業づくりを力を入れて取り組んでいます。

10月28日(水)を「道徳Day」とし、すべての学年で道徳科の授業を行いました。授業の様子を、本県の道徳科の充実に向けて指導されている甲佐町立甲佐小学校の赤星 桂子 指導教諭に参観していただき、指導・助言を受けながら、職員全員で道徳科の授業づくりを学ぶ機会を作りました。

坂瀬川小の子供たちが、授業の中で道徳的価値に真剣に向き合い、自分を振り返りながら、これからどのように過ごしていきたいかを考える様子を褒めていただきました。また、どの学年も温かい雰囲気の中で、一人一人が安心して意見を出し合いながら授業が進んでいることを高く評価して

いただきました。1年生は、きまりを守る大切さについて考えましたが、子供たちから「きまりを守ると、みんながニコニコ笑顔になる」という意見が出され、みんなでこれから大切にしたい心になりました。

さらに10月22日(木)は、本県独自で作成した道徳教育用郷土資料「熊本の心」を教材として活用した道徳科の授業を保護者の方々にも公開しました。「熊本の心」は、書店でも販売されていますし、テレビ放送もされていたので、ご覧になった方も多いのではないのでしょうか。本県の豊かな風土が育ててきた素晴らしい伝統や文化、そして、情熱をもち力強くしなやかに、それぞれの分野で数多くの功績を残された本県に関わりのある方々の生き方等に学びながら、ふるさとを大切に心をも高める取組になりました。



「学びに向かう力」を高めるために

6年生の社会科の授業での出来事です。授業の最初に提示されたねらいは、子供たちの「学びに向かう力」を刺激するようなものでした。6年生の社会科は日本の歴史について学んでいきますが、今は明治時代の学習を行っています。皆さんは、次のような問いに対して、どのような意見や考えをもたれるでしょう。

【本時のねらい】

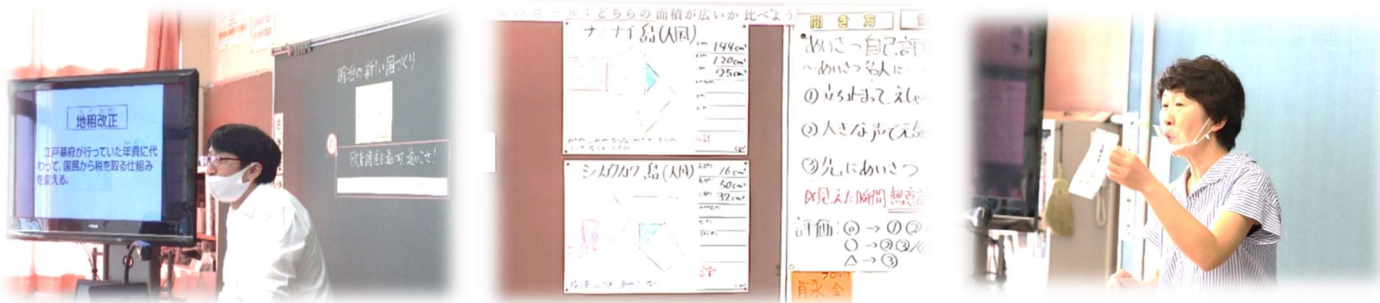
欧米諸国に追いつけ、追いこせ！ あなたが明治政府の中心人物だったら、どの改革に力を入れる？

明治政府が進めた政策には、「地租改正」「殖産興業」「徴兵制度」等があります。私の子供の頃は、これらの政策についての説明を先生から聞き、ひたすら覚える暗記型の学習でした。しかし、この授業では、明治政府が行った政策を自分で調べ、そのよさや課題を考えるだけでなく、自分がその当時を生きる人になったつもりで、当時の我が国の状況や諸外国との関係等を考えながら、課題解決に向けて必要な考え方は何かを話し合っていくという流れでした。

5年生の算数「面積」の学習では、最初に方眼紙上に描かれた2つの島を提示して、「どちらの島が広いか？」と、子供たちに投げかけていました。子供たちは、まず感覚でどちらの島かを選択します。この2つの島は、正方形や長方形、三角形、平行四辺形、台形などが組み合わさって作られています。この課題を解決するためには、島の形状に着目し、部分ごとの面積の求め方を探り、そして足し合わせていくことで、最後に求められます。以前の面積の授業は、ひたすら公式を覚え、その公式に数字を当てはめることで答えを出していたかもしれません。子供たちは、実際に図形を切ったり貼り合わせたりしながら、解き方を導き出していきます。また、一つの図形の面積を求めるたびに、予想は当たっていたか一喜一憂する様子が見られました。

6年生の国語の短歌や俳句を学ぶ「秋探し」の授業では、近頃俳句を取り扱っているテレビ番組の手法を参考にしながら、様々な季語を織り込んだ俳句の感じ方を学習し、俳句づくりに挑戦していました。

予測困難なこれからの時代を生き抜いていく子供たちが、自ら課題を見つけ、その解決に向けて粘り強く学習に取り組む「学びに向かう力」を養うために、これからも全職員で授業づくりに取り組んでいきます。



菊池恵楓園絵画クラブ金陽会 里帰り展の見学を通して

国立療養所菊池恵楓園絵画クラブ金陽会が描かれた作品を展示する「ふるさと、天草に帰る」展が苓北町で開催されていますが、高学年が見学させていただきました。長い療養所生活の中で、家族やふるさとを想って描かれた数々の作品に直接触れ、その素晴らしさに感動していました。また、作品の説明を聞きながら、一つ一つに込められた作者の苦難や葛藤、願い、希望といった思いを子供たちなりに受け止め、感想を書いていました。



子供たちが感じた思いを大切にしながら、さらに本校の人権教育を充実させ、自分の中にある差別や偏見の心と向き合い、差別を許さず、一人一人の人権を尊重できる人権感覚を育てていきたいと思っております。

<今後の主な予定>

11月17日(火)	就学時健診	11月20日(金)	苓北町教育委員会学校訪問
11月24日~	漢字・計算大会週間	11月25日(水)	校内持久走大会